

6期生 募集

第6回

認知症まちづくりファシリテーター講座

真のチームをつくりまちの姿を変えていこう



チーム

立場の異なる3人が
本気になれば
まちの姿は変わります



問 い

問いの立て方に成功すれば
多様なセクターの人と課題を
共有することができます



対 話

まちづくりの共感者が増え
質の良いアクションを
展開することができます

まちを動かす次の一手をつかみとろう！



1日目：2023年1月28日(土) 11～18時

2日目：2023年1月29日(日) 10～17時



■会場：アーツ千代田 3331
(東京都千代田区外神田6-11-14)



■対象：認知症の課題を核に地域や組織に変化を起こしたい方 ※3人1組のチーム参加
詳細は申込ページをご確認ください。



■参加費：30万円(税別) / チーム

※過去に本講座を受講されたチームが、同じ地域から他の方の参加を希望する場合にリピート割を適用します。

リピート参加：15万円(税別) / チーム

※個人参加は選考の上認めます。すぐにチーム編成が難しいが将来、チームとして参加する意思がある個人の方が対象です。

個人参加：5万円(税別) / 人



■申込フォームよりお申込みください

<https://forms.gle/7NGACYfYXW34j1DJ8>

(最大8チームまで/定員になり次第締切)

締切は12月16日(金) 24時まで

選考結果は12月21日(水) までに
お知らせします。



申込フォーム



■新型コロナウイルスに関する対応について：本講座は、内容の性質上、対面での開催を前提に設計しております。会場は定員の50%までの収容人数とし、換気やマスク着用などの感染症対策を実施した上で実施します。なお、開催の最終判断は実施日程の2週間前までに実施し参加予定者にご連絡いたします。感染症拡大などの状況次第で、延期もしくは中止する場合がございます。中止の際は、参加費は返金させていただきます。

主催：株式会社DFCパートナーズ

共催：株式会社フューチャーセッションズ / 認知症未来共創ハブ

■認知症まちづくりファシリテーター講座とは

※会議の進め方やファシリテーション技術だけを学ぶ講座ではありません

これまで認知症の課題に対して、いろいろ取り組んできたけれど、ただ自分たちががんばるだけでは解決しないのではないかと考えている方に向けて、どうすれば立場の違う人と本当の意味で課題を共有できるのか、どのような問いの設定をし、どのような場を作れば、前に進むことができるのかを一緒になって考える機会です。

全国の様々な分野でイノベーションを起こしてきた株式会社フューチャーセッションズの皆さん、そして認知症の課題を入り口にまちの姿を変えつつある地域の皆さんにご協力をいただき、問いの立て方、対話の場の設計を実践形式で学びます。

5年間実施した講座の経験から、「立場の異なる3人が本気になれば、本当にまちは変わる」という確信を得ました。個人のスキルアップを目指した研修やセミナーとは違いますので、原則、個人参加はできません。同一の地域から3人1組での参加となります。認知症の課題は、まちのあり方を変えないと解決しないという信念をもった皆さんの、チームでの参加をお待ちしています！

■講師



医療法人 静光園
白川病院医療連携
室長（大牟田市）
/ 認知症未来共創
ハブ 運営委員

猿渡 進平



株式会社フュー
チャーセッションズ
セッションプロデ
ューサー

芝池 玲奈



(株) DFCパートナ
ーズ 代表取締役
/ 認知症未来共創
ハブ 運営委員

徳田 雄人

■認知症まちづくりファシリテーター講座 プログラム

2日間でチームビルディングの手法を学びます！

DAY 1



1. オープニング

全国の認知症まちづくりの仲間との出会い。チームごとに自己紹介し、関係性をつくります。その後、認知症まちづくりの核となる考え方を学びます。

DAY 2



4. ファシリテーション実践

Days1で設計したセッションをチームで実践。ファシリテーションしない時は、他のチームのセッション参加者となります。



2. 手法の理解と体験

まちづくりを進めるための6つの対話手法を紹介。講師のファシリテーションの体験を通じて、手法や適用シーンについて理解を深めます。



5. 実践の振り返り

30分ミニセッションのファシリテーションと他チームのセッションへの参加を通して得た気づきや学びを振り返ります。



3. 実践準備

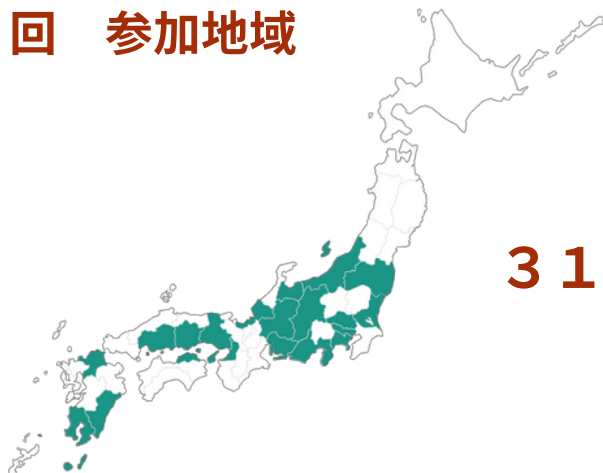
地域の現状と課題を洗い出し認知症まちづくりを進めるための問いを考え、30分のミニセッションを設計します。



6. ネクストステップ作成

認知症まちづくりをどのように進めていくか、ネクストステップを検討します。それぞれのプランを共有し、地域を超えて一緒にまちづくりを進めていくことも考えます。

■過去5回 参加地域



20都道府県から

31市町村のチームが参加

() 内の数字は参加回数

福島県	いわき市(2)	静岡県	熱海市・富士宮市(3)
茨城県	常陸大宮市	愛知県	豊橋市
埼玉県	所沢市・新座市・三郷市	大阪府	大阪市
東京都	町田市(4)・調布市・三鷹市・品川区	兵庫県	相生市・たつの市・三田市
神奈川県	川崎市	岡山県	岡山市(2)
新潟県	十日町	広島県	福山市・東広島市
富山県	富山市	香川県	三豊市
福井県	福井市	福岡県	福岡市・みやこ町
長野県	下諏訪町・諏訪市	宮崎県	新富町
岐阜県	恵那市(2)	鹿児島県	錦江町

■修了生の感想

講座を通して何に取り組むのか整理でき、明確になったのが良かった。こういう対話の手法もあるのだと地域の専門職に伝えたい。上手な空間づくりなどもっと学びたい。

自治体職員

自治体職員

全国のトップランナーと知り合えて嬉しい。みんなの事業から刺激を受けた。

2日間を経て、まちづくりの考え方や捉え方が変わった。認知症を取り巻く課題のみならず障害や貧困も含め、地域全体から「やさしいまちづくり」を展開していきたい。地域別懇談会を、今年はよりパワーアップさせたい。

社協職員

介護施設

講座に参加して、地域課題がはっきりとした。具体化した一歩が踏み出せる。

■修了生の活動と地域のその後

行政や地元のお店など、まちの人達と活動を行うと、さまざまな意見や準備が広がっていくものです。そんな時、認知症まちづくりファシリテーター講座で学んだ、『問いの共有』が活きました。何のための活動か、メンバーで立ち戻って考えを再確認することで、チームワークが強まり、プロジェクトを実行できました。

まちづくりを続けるには、人を頼って、人を巻き込まないと、みんなの目標を達成できないと思います。だからこそ、人と人をつなぐハブの役割が大事です。自分から、相手の状態に合わせないと、人と人をつなぐことはできません。講座の後、相手を知ること、その人を理解することを、すごく意識するようになりました。



東京都町田市／森 光輝さん
(高齢者施設 企画室長)

第1回認知症まちづくりファシリテーター講座に、行政職員・地域介護職員のチームで参加。受講後、スターバックスでの「まちだ認知症Dカフェ」(写真)を開催、認知症当事者と作る「まちだアイ・ステートメント」や「まちだDサミット」の運営に関わる。

